

令和 6 年度

富山市ガラス美術館
協議会

資 料

令和 6 年 7 月

令和6年度 富山市ガラス美術館協議会

資料目次

資料1 富山市ガラス美術館協議会概要等

資料1-1	富山市ガラス美術館協議会の概要について……………	P 2
資料1-2	富山市「ガラスの街づくり」の主な取組みについて……………	P 4
資料1-3	富山市ガラス美術館企画展について……………	P 7
資料1-4	富山市ガラス美術館基本方針……………	P 11

資料2 令和5年度富山市ガラス美術館事業実績等……………議事（1）

資料2-1	令和5年度富山市ガラス美術館の当初予算額及び決算額について……………	P 13
資料2-2	令和5年度富山市ガラス美術館の主要事業について……………	P 14
資料2-3	令和5年度TOYAMAキラリ入館者数及び富山市ガラス美術館 観覧者数について……………	P 32
資料2-4	令和5年度富山市ガラス美術館5階ギャラリー使用実績について…	P 35
資料2-5	令和5年度公益施設内関連イベント実施状況について……………	P 36
資料2-6	来館者アンケート集計結果……………	P 40

資料3 令和6年度富山市ガラス美術館事業計画等……………議事（2）

資料3-1	令和6年度富山市ガラス美術館事業一覧について……………	P 46
資料3-2	令和6年度富山市ガラス美術館展覧会開催スケジュールについて…	P 47

参考資料

参考資料-1	ミュージアムショップ（2階）のオリジナル商品について……………	P 49
参考資料-2	カフェ（2階）メニューについて……………	P 52

富山市ガラス美術館協議会 概要等

富山市ガラス美術館協議会の概要について

1 関係法令及び条例、規則※

- ・博物館法（昭和 26 年 12 月 1 日法律第 285 号）第 23 条～第 25 条
 - ・富山市ガラス美術館条例（平成 26 年富山市条例第 58 号）第 12 条
 - ・富山市ガラス美術館条例施行規則（平成 26 年富山市教育委員会規則第 3 号）第 10 条、第 11 条
- ※条文は、次頁。

2 目的

富山市ガラス美術館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるための機関。

3 任命

協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に寄与する活動を行う者、本市の美術の振興に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

4 定数

定数 10 人以内

5 任期

任期 2 年

6 委員名簿 任期 令和 6 年 6 月 1 日から令和 8 年 5 月 31 日まで （五十音順）

	氏 名	推薦団体等	役職名
1	秋元 雄史	学識経験者（現代美術）	金沢 21 世紀美術館特任館長
2	石崎 由則	本市の美術の振興に資する活動を行う者	株式会社アイザック 代表取締役会長兼 CEO
3	石田 敬真	本市の美術の振興に資する活動を行う者	富山市美術作家連合会長
4	嘉義 政彦	学校教育関係	富山市小学校長会長
5	唐澤 昌宏	学識経験者（近・現代工芸史）	国立工芸館長
6	竹脇 孝志	学校教育関係	富山市中学校長会長
7	外館 和子	学識経験者（工芸史）	多摩美術大学教授
8	浪瀬 佳子	公募委員	

◎博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）

（博物館協議会）

第 23 条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第 24 条 博物館協議会の委員は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十三条第一項の条例の定めるところにより地方公共団体の長が当該博物館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされている場合にあっては、当該地方公共団体の長）が、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の理事長がそれぞれ任命する。

第 25 条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の条例で、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の規程でそれぞれ定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

◎富山市ガラス美術館条例（平成 26 年富山市条例第 58 号）

（協議会）

第 12 条 博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 23 条の規定に基づき、富山市ガラス美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に寄与する活動を行う者、本市の美術の振興に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、委員会が任命する。

3 協議会の委員の定数は、10 人以内とする。

4 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

◎富山市ガラス美術館条例施行規則（平成 26 年富山市教育委員会規則第 3 号）

（協議会）

第 10 条 条例第 12 条第 1 項に規定する富山市ガラス美術館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（協議会の会議）

第 11 条 協議会は、会長が招集し、その会議の議長となる。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

富山市「ガラスの街づくり」の主な取組みについて

(1) ガラス美術館開館まで

年月	事項
昭和 56 年 12 月	富山市高等教育機関研究委員会から、富山市における高等教育機関の整備について答申があり、高等教育機関として専門学校設置の提言を受ける
昭和 58 年度	答申の趣旨を踏まえ、富山市として「新しい時代の高等教育を求めて」を策定 (1) 国際教養学科 英語コース ⇒ 外国語専門学校 (2) 家庭生産学科 ガラス工芸コース ⇒ ガラス造形研究所
昭和 60 年 4 月	富山市民大学ガラス工芸コース開設
昭和 63 年 3 月	富山中央部丘の夢構想調査報告書に呉羽丘陵を中心に新たなリクレーション空間を創出する案のひとつとして、初めて「ガラスの里」のイメージが語られる
昭和 63 年 9 月	富山ガラス工芸教育機関設置委員会を開催
平成 2 年 7 月	富山ガラス造形研究所校舎着工
平成 3 年 4 月	富山ガラス造形研究所が開校
平成 3 年 6 月	富山ガラス造形研究所開校記念式（本館完成 1,734.40m ² ）
平成 5 年 5 月	富山ガラス造形研究所研究科棟完成（568.86m ² ）
平成 6 年 4 月	富山ガラス工房が開設
平成 8 年 10 月	「ガラスの街づくり事業」スタート、ミニケースギャラリー設置
平成 8 年 11 月	富山ガラス個人工房建設着工（平成 9 年 4 月開設）
平成 9 年 7 月	「ガラスの里」基本構想策定委員会を設置
平成 10 年 3 月	「ガラスの里」基本構想策定委員会から「ガラスの里」基本構想の策定報告を受ける
平成 10 年 4 月	富山ガラス造形研究所の研究科を 1 年制から 2 年制とする
平成 10 年 9 月	「ガラス美術館」の基本方針や性格を審議するため、「ガラス美術館」基本構想策定委員会を設置
平成 10 年 12 月	「ガラス美術館」の収蔵品の選定・評価のため「ガラス美術館」収蔵作品選定委員会を設置

平成 11 年 8 月	富山国際会議場のオープンに併せ、1 階にガラス工芸品を販売するアートサロンを設置、同階の交流ギャラリーの一角に市所蔵のガラス作品を展示
平成 12 年 3 月	富山ガラス造形研究所増築工事 (特別制作室、作品収蔵庫/421.48m ²)
平成 13 年 3 月	「ガラス美術館」基本構想策定委員会が基本構想をまとめる
平成 14 年 3 月	富山ガラス工房拡充整備計画を策定
平成 14 年 8 月	「第 1 回現代ガラス大賞展・富山 2002」を富山市民プラザで開催
平成 14 年 11 月	富山ガラス造形研究所顧問である藤田喬平氏が文化勲章を受章。これを記念して、「藤田喬平のガラス芸術」展を富山国際会議場で開催
平成 14 年 11 月	ガラス美術館建設延期に伴い、街全体を美術館に見立てた新たな展開方針を検討。中心市街地を含めたストリートエリアへの作品展示に着手
平成 16 年 8 月	「ガラスの街とやま」シンボルマークを正式発表
平成 16 年 10 月	レンタル機能を新たに盛り込んだ富山ガラス工房の増築棟完成
平成 17 年 3 月	富山市民プラザ 2 階に市所蔵のガラス作品を展示するガラスアートギャラリーを開設
平成 17 年 3 月	ガラス美術館・ストリートエリア構想事業の一環として、屋外型ショーケースを大手モールに設置
平成 17 年 8 月	「第 2 回現代ガラス大賞展・富山 2005」、愛知万博関連事業「光と空間の捕捉ーチェコ現代ガラス展」を富山市民プラザで同時開催
平成 19 年 9 月	「TOYAMA GLASS×ONE 2007」展を富山市民プラザで開催
平成 20 年 2 月	有識者による「(仮称)ガラス美術館」懇談会を開催(計 2 回)。ガラス美術館の建設地について、中心市街地での整備が望ましいという提言を受ける
平成 20 年 3 月	森富山市長が 3 月議会でガラス美術館を中心市街地で整備する意向を表明
平成 20 年 4 月	それまで複数の部局で実施していたガラス事業を富山市企画管理部に一元化

平成 20 年 8 月	「第 3 回 現代ガラス大賞展・富山 2008」を富山市民プラザで開催
平成 21 年 3 月	今後のガラスの里の整備方針やガラス美術館の方向性を盛り込んだ「富山市ガラスの街づくりプラン」を策定
平成 21 年 4 月	富山ガラス造形研究所が県教育委員会から専門学校の認可を受ける
平成 22 年 1 月	森富山市長が旧大和跡地でのガラス美術館を整備する計画を表明
平成 22 年 3 月	「ガラスの里」宿舎棟及びアーティスト・イン・レジデンスを富山市西金屋地内に設置（同年 4 月より供用開始）
平成 22 年 11 月	「西町南地区の公益施設整備に関する基本構想」を策定し、ガラス美術館の役割や整備に向けての基本方針を打ち出す
平成 23 年 4 月	「ガラスの里」宿舎棟を増築、供用開始
平成 23 年 8 月	「第 4 回 現代ガラス大賞展・富山 2011」を富山市民プラザで開催
平成 24 年 1 月	「ガラスの里」にかわる新名称を公募により「グラス・アート・ヒルズ富山」に決定
平成 24 年 9 月	「グラス・アート・ヒルズ富山」において、市民や観光客のガラス制作体験に特化した富山ガラス工房第 2 工房を開設
平成 25 年 1 月	ガラス美術館設置準備室設置
平成 25 年 5 月	富山市西町南地区第一種市街地再開発事業起工
平成 26 年 8 月	再開発ビルの愛称が「TOYAMA キラリ」に決定
平成 27 年 4 月	富山市行政組織規則（平成 17 年規則第 3 号）に基づき「ガラス美術館」設置
平成 27 年 5 月	富山市西町南地区第一種市街地再開発事業竣工
平成 27 年 6 月	グラス・アート・ガーデン作品の一部をチーフリ・スタジオとガラス造形研究所・ガラス工房のスタッフとが共同制作
平成 27 年 8 月	富山市ガラス美術館開館

(2) 富山市ガラス美術館企画展について

	会期	展覧会名
平成 27 年 度	平成 27 年 8 月 22 日 (土) ～平成 27 年 11 月 8 日 (日) (開場 68 日)	アイ・ガット・グラス！アイ・ガット・ライフ！ 情熱の現代ガラス芸術 【観覧者数：41,442 人】
	平成 27 年 11 月 21 日 (土) ～平成 28 年 1 月 31 日 (日) (開場 57 日)	藤田喬平の芸術－『現代』としての 伝統 【観覧者数：10,370 人】
	平成 27 年 11 月 21 日 (土) ～平成 28 年 3 月 21 日 (月・祝) (開場 100 日)	ハワード・ベン・トレ：Casting of Being－存在の痕跡 【観覧者数：18,630 人】
平成 28 年 度	平成 28 年 4 月 16 日 (土) ～平成 28 年 7 月 3 日 (日) (開場 74 日)	feeling in glass ー感じとるかたちー 【観覧者数：17,836 人】
	平成 28 年 7 月 16 日 (土) ～平成 28 年 9 月 25 日 (日) (開場 67 日)	イワタルリ BODY×硝子 【観覧者数：20,108 人】
		ベンジャミン・イードルス&キャシー・エリオット：Light Marksー光を辿（たど）る 【観覧者数：20,206 人】
	平成 28 年 10 月 15 日 (土) ～平成 29 年 2 月 5 日 (日) (開場 100 日)	スタニスラフ・リベンスキー ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ 【観覧者数：14,355 人】
	平成 29 年 2 月 18 日 (土) ～平成 29 年 3 月 26 日 (日) (開場 35 日)	『うごき』と『へんか』の視点・富山市ガラスコレクション展 【観覧者数：8,958 人】
平成 29 年 度	平成 29 年 4 月 15 日 (土) ～平成 29 年 7 月 9 日 (日) (開場 80 日)	雲母 Kira 平山郁夫とシルクロードのガラス展 【観覧者数：20,864 人】
	平成 29 年 7 月 22 日 (土) ～平成 29 年 11 月 5 日 (日) (開場 100 日)	アン・ヴォルフ アンダンテ 【観覧者数：25,693 人】
	平成 29 年 7 月 22 日 (土) ～平成 29 年 11 月 5 日 (日) (開場 100 日)	家住利男 削りの形 【観覧者数：25,803 人】
	平成 29 年 11 月 23 日 (木・祝) ～平成 30 年 2 月 4 日 (日) (開場 64 日)	とめどないエネルギー：ガラスをめぐる探究と表現 【観覧者数：9,613 人】

平成 29 年度	平成 30 年 2 月 17 日（土） ～平成 30 年 3 月 25 日（日） （開場 34 日）	北陸のガラス作家たち：多様化するガラス造形 【観覧者数：8,259 人】
平成 30 年度	平成 30 年 4 月 7 日（土） ～平成 30 年 6 月 17 日（日） （開場 69 日）	ダブルリフレクション：世界を見つめなおす瞬間（とき） 【観覧者数：17,317 人】
	平成 30 年 4 月 28 日（土） ～平成 30 年 9 月 3 日（月） （開場 121 日）	扇田克也-光のカタチ 【観覧者数：37,360 人】
	平成 30 年 7 月 7 日（土） ～平成 30 年 9 月 3 日（月） （開場 56 日）	アレナ・マチェイカ 神秘的な世界への旅 【観覧者数：19,539 人】
	平成 30 年 9 月 15 日（土） ～平成 30 年 11 月 25 日（日） （開場 68 日）	富山ガラス大賞展 2018 【観覧者数：20,598 人】
	平成 30 年 12 月 8 日（土） ～平成 31 年 2 月 24 日（日） （開場 76 日）	ジブリの大博覧会～ナウシカからマーニーまで～ 【観覧者数：225,435 人】
令和 元 年度	平成 31 年 4 月 27 日（土） ～令和元年 9 月 23 日（月・祝） （開場 140 日）	北澤美術館所蔵 ルネ・ラリック-モダン・パリのエレガンス- 【観覧者数：58,838 人】
	平成 31 年 4 月 27 日（土） ～令和元年 9 月 23 日（月・祝） （開場 140 日）	MART A K L O N O W S K A Istota マルタ・クロノフスカ 不思議ないきもの 【観覧者数：59,715 人】
	令和元年 10 月 12 日（土） ～令和 2 年 2 月 9 日（日） （開場 112 日）	リノ・タリアピエトラ ライフ・イン・グラス 【観覧者数：23,711 人】
	令和 2 年 2 月 29 日（土） ～令和 2 年 9 月 22 日（火） （令和元年度中開場 30 日）	ミクロコスモス：あらたな交流のころみ 【令和元年度中 観覧者数：4,444 人】
令和 2 年度	令和 2 年 2 月 29 日（土） ～令和 2 年 9 月 22 日（火） （令和 2 年度中開場 129 日）	ミクロコスモス：あらたな交流のころみ 【令和 2 年度中 観覧者数：15,602 人】 【期間計 観覧者数：20,046 人】
	令和 2 年 4 月 25 日（土） ～令和 2 年 9 月 22 日（火） （開場 117 日）	イヴァナ・シュラムコヴァ ここにあるもの 【観覧者数：15,000 人】
	令和 2 年 10 月 10 日（土） ～令和 2 年 11 月 23 日（月） （開場 43 日）	木梨憲武展 Timing -瞬間の光り- 【観覧者数：48,735 人】
	令和 2 年 12 月 12 日（土） ～令和 3 年 3 月 14 日（日） （開場 83 日）	インタラクション：響きあうころ 【観覧者数：10,823 人】

令和2年度	令和3年3月6日（土） ～令和3年6月22日（火） （令和2年度中開場日25日）	高橋禎彦 playtime 【令和2年度中 観覧者数：4,307人】
令和3年度	令和3年3月6日（土） ～令和3年6月22日（火） （令和3年度中開場日77日）	高橋禎彦 playtime 【令和3年度中 観覧者数：8,438人】 【期間計 観覧者数：12,745人】
	令和3年4月10日（土） ～令和3年6月22日（火） （開場日69日）	サントリー美術館特別協力 ガラスに挑む―素材へのまなざし 【観覧者数：9,482人】
	令和3年7月10日（土） ～令和3年10月3日（日） （開場日57日）	富山ガラス大賞展2021 【観覧者数：14,312人】
	令和3年10月23日（土） ～令和4年1月23日（日） （開場日83日）	富山ガラス造形研究所創立30周年記念展 未来へのかたち 【観覧者数：17,543人】
	令和4年3月12日（土） ～令和4年6月26日（日） （令和3年度中開場日19日）	カースティ・レイ：静けさの地平 【観覧者数：3,902人】
令和4年度	令和4年3月12日（土） ～令和4年6月26日（日） （令和4年度中開場日81日）	カースティ・レイ：静けさの地平 【令和4年度中 観覧者数：18,403人】 【期間計 観覧者数：22,305人】
	令和4年7月16日（土） ～令和4年10月16日（日） （開場日87日）	コーニング・ガラス美術館共同企画 New Glass Now 【観覧者数：28,104人】
	令和4年11月3日（木・祝） ～令和5年1月29日（日） （開場日79日）	フィンランド・グラスアート：輝きと彩りのモダンデザイン 同時開催：ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展―食べること、共に生きること― 【観覧者数：24,628人】
	令和5年2月11日（土・祝） ～令和5年2月19日（日） （開場日9日）	ガラスの街とやま連携展 「TOYAMA GLASS×（バイ）…」 【観覧者数：2,476人】
	令和5年3月4日（土） ～令和5年6月18日（日） （令和4年度中開場日27日）	アナザーワールド：不思議でリアルな世界 【令和4年度中 観覧者数：10,140人】

令和5年度	令和5年3月4日（土） ～令和5年6月18日（日） （令和4年度中開場日73日）	アナザーワールド：不思議でリアルな世界 【令和5年度中 観覧者数：27,797人】 【期間計 観覧者数：37,937人】
	令和5年7月8日（土） ～令和5年10月9日（月・祝） （開場日88日）	日本近現代ガラスの源流 【観覧者数：33,757人】
	令和5年11月3日（金・祝） ～令和6年1月28日（日） （開場日66日）	宮永愛子 詩を包む 【観覧者数：15,301人】
	令和6年2月10日（土） ～令和6年2月18日（日） （開場日9日）	ガラスの街とやま連携展 ガラスと生きる 富山ガラス工房と所属作家 【観覧者数：2,839人】
	令和6年3月9日（土） ～令和6年6月23日（日） （令和5年度中開場日22日）	回顧展：大平洋一 ヴェネツィアン・ガラスの彼方へ 【令和5年度中 観覧者数：7,455人】

富山市ガラス美術館

基本方針

- 1 現代のガラス作品を中心に収集し、後世に伝えます。
- 2 ガラスを軸とした現代の多様な芸術表現を紹介し、人々に芸術との出会いの場を提供します。また、富山ゆかりのガラス作家の作品も紹介します。
- 3 収蔵作品や現代美術に関連した調査研究を実施し、その成果を社会に還元します。
- 4 芸術を通して、豊かな感性や知的好奇心を育みます。また、本市のガラスの街づくりにも寄与します。
- 5 併設する図書館と連携し、「透き通る」をテーマに、誰もが気軽に「美」と「知」に触れられる場として、まちなかの賑わいのある、魅力的な美術館を目指します。

令和 5 年度

富山市ガラス美術館
事業実績等

令和 5 年度 富山市ガラス美術館の予算額及び決算額について

No.	事業名	当 初 予算額	決算額	主な事業の概要（数値は決算額）	4 年度 決算額
1	管理運営事務費	376,627 千円	363,775 千円	ガラス美術館の維持管理等を行うもの。 【内訳】 ・職員人件費 108,280 千円 ・委託料（総合案内受付、監視員業務委託等） 141,317 千円 ・光熱水費 49,340 千円 ・負担金（複合施設維持管理関係等） 32,203 千円 ・その他施設管理経費（消耗品費、借上料等） 32,635 千円	369,344 千円
2	作品収集保存事業費	16,721 千円	16,587 千円	美術館が掲げる作品収集方針を基に、作品及び関連資料の収集を行う。また収集した作品を後世に伝えるための、調査研究と保存を行うもの。 【内訳】 ・備品購入費（新規収蔵作品購入費） 9,892 千円 ・委託料（文化財虫菌害・保存環境調査業務委託等） 6,209 千円 ・その他収集審査等にかかる経費 486 千円	13,081 千円
3	調査研究事業費	3,797 千円	1,517 千円	全国の美術館等と連携を図り、研修参加や情報収集に努めるとともに、ガラス美術を中心とした専門書籍の収集など、学芸の調査研究活動を行うもの。 【内訳】 ・旅費 868 千円 ・負担金（I C O M 会費、日本ガラス工芸会会費等） 308 千円 ・消耗品費、備品購入費（美術関係雑誌等購入） 212 千円 ・その他調査研究通訳手数料等 129 千円	2,010 千円
4	展覧会開催事業費	173,100 千円	127,698 千円	ガラス美術作品の企画展示・常設展示を行うもの。 【内訳】 ・企画展 ①アナザーワールド：不思議でリアルな世界 3,969 千円 ②日本近現代ガラスの源流 23,120 千円 ③宮永愛子 詩を包む 30,852 千円 ④ガラスの街とやま連携展「ガラスと生きる」 3,000 千円 ⑤回顧展：大平洋一 ヴェネツィアン・ガラスの彼方へ 40,460 千円 ・常設展 8,657 千円 ・能登半島地震対策 2,341 千円 ・郵便料、広告料、消耗品費、次年度展覧会準備など 15,299 千円 【参考】観覧者数 208,683 人 うち有料入館者数 171,469 人、観覧料：88,400 千円	144,795 千円
5	富山ガラス大賞展開催事業費	13,000 千円	13,000 千円	「富山ガラス大賞展 2 0 2 4」の開催に向けた準備として、作品募集及び一次審査等を行う。 【内訳】 ・委託料（実行委員会への委託） 13,000 千円	2,052 千円
6	教育普及事業費	4,354 千円	3,932 千円	富山市及び連携中枢都市圏の関係市町村（滑川市、上市町、立山町、舟橋村）の小学 4 年の児童を「TOYAMA キラリ（美術館、図書館本館）」へ招待する学校招待プログラムを行うもの。 【内訳】 ・委託料（学校招待プログラム作品鑑賞補助等業務委託等） 3,843 千円 ・その他事務費 83 千円	3,906 千円
7	広報活動事業費	15,463 千円	15,867 千円	ガラス美術館を広く多くの人に周知するため、展覧会等の広報活動を行うもの。 【内訳】 ・委託料（広告制作費・掲載費、ウェブサイト保守、広報印刷物製作費） 9,240 千円 ・広告料等（るるぶ・まっぷる等） 3,608 千円 ・印刷製本費（館内パンフレット等） 2,796 千円 ・その他通信運搬費等 223 千円	14,242 千円
8	ガラス美術品等取得基金費	3 千円	1 千円	ガラス美術品等の取得に要する費用に充当するために設置した基金に運用益等の積み立てを行うもの。 ・基金運用益積立金（令和 4 年度末現在高 4,935,937 円） 1 千円	1 千円
合計		603,065 千円	542,377 千円		549,431 千円

令和 5 年度富山市ガラス美術館の主要事業について

1 作品収集保存事業

趣旨

美術館が掲げる作品収集方針を基に、作品及び関連資料の収集を行う。また収集した作品を後世に伝えるための、調査研究と保存を行うもの。

(1) 富山市ガラス作品等収集審査会について

ア 目的等

美術館におけるガラス作品及び関連資料の適正な収集を図るため、富山市ガラス美術館条例に基づく「富山市ガラス作品等収集審査会」を設置し、ガラス作品等を収集している。

イ 任命

審査会の委員は、ガラス作品等に関して学識経験を有する者の中から、教育委員会が任命する。

ウ 定数等 定数 5 人以内、任期 2 年

エ 富山市ガラス作品等収集審査会委員

任期 令和 4 年 2 月 2 4 日から令和 6 年 2 月 2 3 日まで

氏 名	役職等	専門等
藤原 信幸（会長）	東京藝術大学美術学部工芸科教授	ガラス造形
島 敦彦（職務代理）	国立国際美術館長	現代美術
池田 まゆみ	北澤美術館 主席学芸員 日本大学芸術学部 非常勤講師	美術工芸史
外館 和子	多摩美術大学教授	工芸史
雪山 行二	前富山県美術館長	近・現代美術

(2) 作品収集方針について

富山市では、次の 5 つの収集方針のもと、収集を行っている。

ア 主に 1950 年代以降に制作された、現代ガラス美術発展の流れに沿った国内外のすぐれた作品

イ 次世代のガラス美術の方向を予見させる革新的で質の高い作品

ウ ガラス美術を歴史的・体系的に整理し、美術史上に位置づけるうえで重要と思われる作品

エ ガラス美術以外の造形分野で、“透き通る”というコンセプトにおいて特にすぐれており、ガラス美術の発展の参考となりうる作品

オ その他、美術館が収蔵するのにふさわしい資料等

(3) これまでの収集作品数について
599点の現代ガラス作品等を収集

(4) 令和5年度の収集作品について

令和5年12月11日(月)に「令和5年度富山市ガラス作品等収集審査会」を開催し、審査結果に基づき購入作品27点、寄附作品59件を収集することとした。

	作家名	作品名	制作年
購入作品	ケイト・ベーカー	Within Matter #7	2020
	マリア・ルゴッシー	Primary Rocks V	1990
	マリア・ルゴッシー	Cell Formation	1991
	高橋禎彦	謎	2023
	高橋禎彦	そだつこと	2023
	高橋禎彦	しるし	2023
	高橋禎彦	おぼえているために	2023
	高橋禎彦	おぼえているために	2023
	高橋禎彦	越碧花入れ	2023
	高橋禎彦	おぼえているために	2023
	高橋禎彦	おぼえているために	2023
	高橋禎彦	おぼえているために	2023
	高橋禎彦	おぼえているために	2023
	高橋禎彦	おぼえているために	2023
	高橋禎彦	おぼえているために	2023
	安田泰三	越翡翠レティチェット文大鉢	2023
	安田泰三	越碧レティチェット文大鉢	2023
	岩田藤七	吹込みルビー色硝子銀花生	1928
	各務鑛三	宝相華硝子花瓶	不詳
	各務鑛三	人物模様硝子花瓶	不詳
	降旗正男	梅花文花盛	1940 頃
	小畑(淡島)雅吉	鳥竹文様鉢	1936-1942 年頃
	小柴外一	あざみ花盛	1937 頃
	小川雄平	雛 置物	不詳
	各務クリスタル製作所	タンブラー (T-37 スモーク)	不詳
	各務クリスタル製作所	カップ&ソーサー (ブルー)	不詳
	各務クリスタル製作所	カップ&ソーサー	不詳
寄附作品	石井康治	風 他9件	1980-90 年代
	伊藤孚	宙吹硝子 巻紙	1985
	高橋禎彦、田嶋悦子	Y & E / 1998 G A S	1998
	明道長次郎	草花文グラブュール硝子鉢 他1件	1930-40 年代
	佐々文夫	オーナメント「APOSTROPHE」他4件	1950-80 年代
	菅澤利雄、株式会社保谷硝子	デスク時計 他3件	1980-90 年代
	Ken コレクション	全36件	1930-40 年代頃

2 調査研究事業

趣旨

全国の美術館等と連携を図り、研修参加や情報収集に努めるとともに、ガラス美術を中心とした専門書籍の収集など、学芸の調査研究活動により、収集・展示・教育普及といった美術館の基本的な活動の質を高めるもの。

(1) 調査研究

作品の収集、保存、展示に関する調査研究を行うとともに、文化庁、全国美術館会議をはじめ、加盟する団体などが主催する専門的な知識・技術に関する研修に参加し、美術館の業務全般にわたり、スキルアップを図った。また、関係書籍の収集を行い、当館における調査研究を進めた。

現代ガラス作品を多く所蔵し、展示する当館では、文献による情報収集だけではなく、直接作家へ作品コンセプトや制作方法の聞き取りを行い、作品や作家、展示についての調査研究を深めた。

この他、他館学芸員や学識者との情報や刊行物の交換、美術資料の相互貸借等による連携や協力活動も行った。

(2) 加盟団体

ア ICOM (International Council of Museum : 国際博物館会議)

ICOM は、ミュージアムの進歩と発展を目的とした世界で唯一かつ最大の国際的非政府組織である。1946 (昭和21) 年に創設され、世界131の国と地域から51, 302人の個人会員と3, 000団体、4の特別委員会、120の国内委員会、34国際委員会、8の地域連盟、23の加盟機関により構成されている。なお、国際委員会の一つである「ICOM GLASS」の会長に、土田館長が就任。(令和4年12月～)

イ グラス・アート・ソサエティ

1971 (昭和46) 年にアメリカ・シアトルで設立されたガラス芸術の推進、教育普及、発展促進に貢献する国際的な非営利団体。作家や教育者、美術館、ギャラリー、美術批評家などのガラスに携わる人達の交流促進を目的に活動している団体。会員数は40カ国 5, 000人以上。

ウ 日本博物館協会

館種や設置者を越えた横断的な博物館振興のための中核機関。1928 (昭和3) 年設立。「博物館研究」の発刊のほか、全国博物館大会、研究協議会等を開催し、博物館活動情報や諸問題について研究協議を行っている。

現在、1, 295 (団体会員1, 164、賛助会員51、個人会員80) の会員が参加している。(2023 (令和5) 年4月時点)

エ 全国美術館会議

「日本の美術館がともに考え、ともに行動すること」を目指し、1952（昭和27）年に設立。当会議は、収集・保存、調査・研究、展示、教育普及等の活動を通じて美術作品やそれに関わる資料を未来に伝えていくという美術館の使命を支え、社会的に根付かせるため、総会や研究会等を毎年開催し、広く情報の共有を行っている。2020（令和2）年4月1日に一般社団法人に設立登記し、410館（国立11館、公立259館、私立140館）の正会員と、47名の個人会員、52団体の賛助会員で組織されている。（2023（令和5）年5月25日時点）。

オ 北信越博物館協会

北信越博物館協会は博物館相互の連絡を図り、博物館活動の振興に努め、学術及び文化の発展に寄与することを目的として、富山・石川・福井・長野・新潟各県内にある博物館及び総会で認めたこれに準ずる施設等によって組織される。

カ 富山県博物館協会

「富山県内にある博物館施設の関係者相互の連絡提携をとり、博物館事業の普及発展を図ること」を目的とし、1966（昭和41）年に結成された。現在県内の博物館・美術館を含む、公立や私立の77施設が加盟している。（2023（令和5）年3月14日時点）

キ 日本ガラス工芸学会

ガラスに関わる研究会や資料紹介・講習会等の活動を通じて、ガラスの研究者、同好者、制作者との交流を促進するとともに、海外関係団体との提携によりガラス研究と文化の振興を図ることを目的として、1975（昭和50）年に設立。特別会員1、賛助会員3、一般法人会員11、正会員177、購読会員4の合計196の個人と団体が加盟している（2023（令和5）年3月末日時点）。

3 展覧会開催事業

趣旨

現代ガラス美術がもつ多様な側面に焦点を合わせた幅広い内容の作品に出会い、対話する機会を、市民をはじめ、より多くの方々に提供するため、ガラス美術作品の常設展示・企画展示を行うもの。

(1) 令和5年度 常設展等の概要

ア コレクション展

(ア) 概要

富山市ガラス美術館では、主に1950（昭和25）年代以降に制作された国内外の現代ガラス作品を所蔵している。コレクション展では、所蔵作品の展示を行うことで、作家たちがそれぞれの思想や文化、社会的背景、価値観を反映しながら生み出してきた多様な表現を紹介する。

(イ) 会期等

① コレクション展 ガラスをめぐる自然

令和5年6月10日（土）～令和5年12月3日（日）

② コレクション展 かさねのガラス

令和5年12月9日（土）～令和6年6月2日（日）

※1月2日（火）～1月14日（日）は臨時休館

(ウ) 会場 展示室4、透ける収蔵庫（4階）

(エ) 観覧料 一般・大学生200円 高校生以下無料 ※6階グラス・アート・ガーデンも観覧可

(オ) 関連事業（学芸員によるトークイベント）各回14時～

■ コレクション展 ガラスをめぐる自然 ギャラリートーク

令和5年6月24日（土）、7月15日（土）、29日（土）、8月11日（金・祝）、26日（土）、9月9日（土）、30日（土）、10月21日（土）、11月3日（金・祝）、25日（土）

会場 展示室4、透ける収蔵庫（4階）

■ コレクション展 かさねのガラス ギャラリートーク

令和5年12月24日（日）、令和6年1月21日（日）、2月10日（土）、25日（日）3月2日（土）、17日（日）、4月7日（日）、21日（日）、5月5日（日）、19日（日）、6月1日（土）

会場 展示室4、透ける収蔵庫（4階）

(カ) 展示風景

ガラスをめぐる自然



撮影：柳原良平

かさねのガラス



撮影：末正真礼生

イ グラス・アート・ガーデン：チフリー・エクスペリエンス

(ア) 概要

「トヤマ・フロート・ボート」など、建物と融合するように展示される5つのインスタレーション（空間芸術）作品とパネル作品は、現代ガラス芸術を代表する作家、デイル・チフリー氏と彼のスタジオメンバーによって2015（平成27）年に制作された。

来場者は美術館6階を回遊することで、鮮やかな色彩のガラス、幻想的な光と影で表現されたデイル・チフリー氏の多様な作品を体感・体験することが出来る。

(イ) 会期 通年

(ウ) 会場 グラス・アート・ガーデン（6階）

(エ) 観覧料 一般・大学生200円 高校生以下無料 ※4階コレクション展も観覧可

ウ グラス・アート・パサージュ

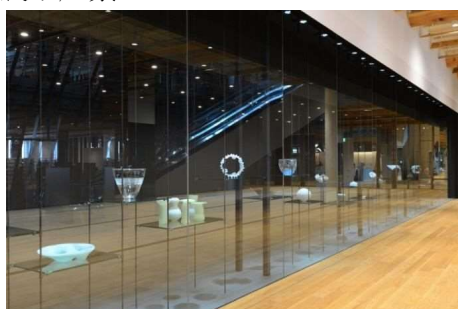
(ア) 概要

富山ゆかりの作家によるガラス作品を「TOYAMA キラリ」内に展示するもの。富山ガラス造形研究所や富山ガラス工房において作品制作、作家活動を行い、その後全国各地で活躍する20名の作家によって制作された作品を展示。2階から4階までの美術館と図書館のオープンエリアにおよそ50点の作品を展示することで、来館者が気軽に現代ガラス表現を鑑賞できる機会となっている。

館内にて同展示について紹介する小冊子『グラス・アート・パサージュガイドブック』を配布している。

(イ) 会期 通年（年に1回展示替え）

(ウ) 展示風景



4階（展示室4の壁面）



4階（図書館内）

エ ストリート・ミュージアム

(ア) 概要

まちなかの歩道や建物内にガラス作品等を展示している。

(イ) 設置箇所

- ・エキシビジョン・ショーケース：市内に9基設置（うち屋外ショーケースについてはm4基を令和5年度に撤去し、令和6年度に3基撤去予定）
- ・広告パネル：アヴィレ（自転車市民共同利用システム）付近にショーケース3基、ポスター掲示パネル1基設置



エキシビジョン・ショーケース



広告パネル

(2) 令和5年度 企画展概要

ア アナザーワールド：不思議でリアルな世界

(ア) 概要

本展は、私たちが生きる世界のもうひとつの姿、すなわち「アナザーワールド」をテーマに、国内で活躍する7名の作家によるグループ展を開催するものである。見慣れたもののこれまで見えなかった一面や物事のもうひとつの側面など、普段は意識の外側にあるものを、本展では「アナザーワールド」として捉え、4つのセクションで作品を展示した。

会場には、素材や制作方法に工夫を凝らすことでガラスの既成概念を打ち破るようなものや、普段は見落としてしまいがちな繊細な感覚に目を向けたもの、空気や気配、時間の流れといった目に見えないものをとらえ視覚化したものなど、身の回りの物事を新鮮な目で見つめた、約70件の多様な作品が並んだ。

展覧会関連企画として、出品作家の木下結衣氏を講師に迎え、ブローチを制作するワークショップを開催した。ブローチの素材として、木下氏制作のオリジナルガラスパーツや各種ビーズを使用し、ガラスに親しんでもらうと共に、展覧会への関心を深める機会とした。

(イ) 会期 令和5年3月4日(土)～令和5年6月18日(日)

(ウ) 会場 展示室1-3(2・3階)

(エ) 観覧料 一般1,000円、大学生800円 高校生以下無料

(オ) 観覧者数 27,797人(今年度分)(通算 37,937人)

(カ) 関連事業

■開会式・内覧会

令和5年3月3日(金) 16時00分～

会場 2階ロビー、展示室1-3(2・3階)

■ワークショップ おとなの美術部「装うガラス」

令和5年5月21日(日) 13時30分～16時00分

会場 2階会議室 講師 木下結衣(出品作家)

■学芸員によるギャラリートーク

令和5年4月16日(日)、30日(日)、5月7日(日)、6月3日(土)、6月17日(土) 14時00分～

会場 展示室1-3(2・3階)

(キ) 展示風景



撮影：末正真礼生



撮影：末正真礼生

イ 日本近現代ガラスの源流

(ア) 概要

本展覧会では明治以降、日本のガラス芸術がどのように切りひらかれてきたのかを、各時代、各作家の重要作品 165 件と関連資料 16 件から紹介した。近代を含む日本のガラス芸術を通史的に取り上げた国内の展覧会としては 24 年ぶりの開催となった。過去の展覧会の内容も踏まえながら、今回は近現代ガラスの発展に重要な役割を果たした企業デザイナー達のプロダクトデザインを積極的に展示することや、現代に繋がる個人での作品制作の萌芽を「壺借り」と「民藝」の双方から捉えるなど、これまで取り上げられてこなかった内容も含めるよう考慮した。会期中には展覧会カタログの寄稿者でもある井上暁子氏による記念講演会や、ガラス造形作家である勝川夏樹氏によるワークショップを開催した。本展覧会全体を通して、日本の近現代ガラスの歴史に改めて光を当てる機会となった。

(イ) 会期 令和 5 年 7 月 8 日 (土) ～ 10 月 9 日 (月・祝)

(ウ) 会場 展示室 1-3 (2・3 階)

(エ) 観覧料 一般 1,200 円 大学生 1,000 円 高校生以下無料

(オ) 観覧者数 33,757 人

(カ) 関連事業

■開会式・内覧会

令和 5 年 7 月 7 日 (金) 16 時 00 分～ 会場 2 階ロビー、展示室 1-3 (2・3 階)

■記念講演会「品川硝子と近代日本のガラス工芸」

令和 5 年 8 月 5 日 (土) 14 時 00 分～ 会場 2 階ロビー

講師：井上暁子 (ガラス工芸史家)

■ライブラリー&ミュージアムコンサート「～ヴァイオリンとピアノで奏でる～ヨーロッパと日本を繋ぐメロディー」

令和 5 年 8 月 5 日 (土) 15 時 15 分～ 会場 2 階ロビー

出演：渋谷優花 (ヴァイオリン)、笠間千絵 (ピアノ)

■ワークショップ「モデリングパートドヴェール体験ーガラスで塑像をしようー」

令和 5 年 9 月 3 日 (日) ① 10 時 00 分～ ② 14 時 00 分～ 会場：2 階会議室

講師：勝川夏樹 (ガラス造形作家)

■学芸員によるギャラリートーク

令和 5 年 7 月 22 日 (土)、8 月 19 日 (土)、9 月 16 日 (土)、10 月 7 日 (土)

各回 14 時 00 分～ 会場 展示室 1-3 (2・3 階)

(キ) 展示風景



撮影：室澤敏晴



撮影：室澤敏晴

ウ 宮永愛子 詩を包む

(ア) 概要

本展は、「変わりながらあり続ける」をテーマとしてナフタリン、樹脂、ガラスの彫刻や塩、葉脈を用いたインスタレーション作品で注目を集める現代美術家、宮永愛子の代表作から最新作まで幅広く紹介した大規模な個展である。かねてよりガラス素材を用いた作品を市内で制作していた宮永は、本展の開催を機に富山県内でのフィールドワークを重ね、そこで得た雪、埋没林、北前船といったキーワードをガラス作品へと落とし込んだ。会場では、富山での出来事や記憶が付されたガラス作品を含む約 20 件のインスタレーション作品が展開された。

また会期中には、出品作家と坂森幹浩富山市郷土博物館長を招き、展示作品とそのモチーフをキーワードに富山の歴史を絡めた対談を開催した。トークイベントを通して作品と富山を繋げ、本展の理解を深める良い機会となった。また、企画展タイトルの文字パーツが付いた特製万華鏡キットを使い、オリジナルの万華鏡を制作するワークショップを実施した。ガラスに親しんでもらうと共に、展覧会への関心を深める機会とした。

(イ) 会期 令和5年11月3日（金・祝）～令和6年1月28日（日）

第1・第3水曜は閉場、年末年始（12月29日～1月1日）

※1月2日（火）～1月14日（日）は臨時休館

(ウ) 会場 展示室1－3（2・3階）

(エ) 観覧料 一般1,200円、大学生1,000円、高校生以下無料

(オ) 観覧者数 15,301人

(カ) 関連事業

■開会式・内覧会

令和5年11月2日（木）16時00分～ 会場：2階ロビー、展示室1－3（2・3階）

■万華鏡制作ワークショップ

令和5年12月16日（土）14時00分～15時30分 会場 6階レクチャールーム

講師 富山ガラス工房 第2工房スタッフ

■トークイベント

令和6年1月20日（土）14時00分～

会場 2階ロビー 講師 宮永愛子（出品作家）、坂森幹浩（富山市郷土博物館館長）

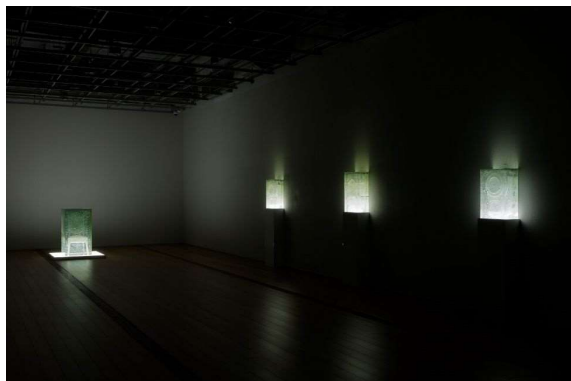
■学芸員によるギャラリートーク

令和5年11月26日（日）、12月3日（日）、令和6年1月27日（土）※1月7日（日）は臨時休館の為中止 各回14時00分～ 会場 展示室1－3（2・3階）

■ライブラリー&ミュージアム クリスマスコンサート

令和5年12月23日（土）14時00分～14時30分 会場：2階ロビー

(キ) 展示風景



撮影：木奥 恵三



撮影：木奥 恵三

エ ガラスの街とやま連携展「ガラスと生きる 富山ガラス工房と所属作家」

(ア) 概要

富山市がこれまで30年以上にわたり街づくりの柱の一つとして掲げてきた、ガラスをテーマとした政策で整備された3施設（富山ガラス工房、富山市ガラス造形研究所、富山市ガラス美術館）が連携し、ガラスの産業化や作家支援等に資することを目的とした展覧会をガラス造形研究所卒業制作展とあわせて開催した。昨年度より開始したこの企画は、今回が2回目の開催となる。

今回の連携展では、全国の手工業のブランディングとプロダクトデザインを手掛ける大治将典氏（O j i & D e s i g n 代表）をプロデューサーに迎え、富山ガラス工房の活動を紹介する展示を行った。「5年後も作り続けているガラス」をテーマとし、現在同工房に所属している22名の作家に焦点をあて、それぞれの作家の個性が光る作品群に加え、同工房が独自に開発したリメルト・ガラスを素材としたインスタレーション作品を大治氏との共同制作の成果として展示した。また、本展に併せ、3階展示室3及び5階ギャラリー1・2ではガラス造形研究所卒業制作展を行い、館内を広く回遊して鑑賞できる形式で、3施設の成果を発信した。

(イ) 会期 令和6年2月10日（土）～2月18日（日）

(ウ) 会場 展示室1・2（2階）

(エ) 観覧料 無料

(オ) 観覧者数 延べ6,331人（展示室が複数カ所であるため延べ数）

(カ) 関連事業

■開会式・内覧会

令和6年2月9日（金）16時00分～

会場：2階ロビー、展示室1～3（2・3階）および5階ギャラリー1・2

■特別企画「RE+RE+REアクセサリー制作体験」

令和6年2月10日（土）～18日（日）10時30分～17時30分

会場：2階ロビー

主催：一般財団法人富山市ガラス工芸センター（富山ガラス工房第2工房）

■開催期間中限定企画「アートのかげら GACHA！」

令和6年2月10日（土）

会場：2階C a f e 小馬キ拉里店

主催：一般財団法人富山市ガラス工芸センター（富山ガラス工房第2工房）

(キ) 展示風景



撮影：大木賢 田川紘輝 nando. inc



撮影：大木賢 田川紘輝 nando. inc

オ 回顧展：大平 洋一 ヴェネチアン・ガラスの彼方へ

(ア) 概要

本展は、アメリカに位置するバリー・フリースマン・ギャラリーの特別協力を得て開催された、ガラス作家・大平洋一氏の没後初となる大規模回顧展である。氏は、ヴェネツィアを拠点として約38年間にわたり、職人達と共にガラス造形の美を追求した人物で、ヴェネツィアン・ガラスの学術的な研究者でもあった。本展では、ニューヨークとヴェネツィアから借用した個人蔵106点の他、他美術館作品や作家蔵を含む計220点を、当館独自の展示構成で紹介した。会場には、吹きガラスの作品をはじめ、古代やルネサンス期のガラス、デザイン画などの平面作品や、17～18世紀のガラス製造方法を記した貴重書や版画資料など、時代を超えてガラスを研究した氏の探求心を示す多様な作品が並んだ。中でも、作品を描いた緻密なデザイン画は氏の制作過程を示しており、ヴェネツィアン・ガラスの伝統を超えてガラスの美しさを引き出す表現に辿りついた、大平氏の創作への情熱を体感する展示となった。本展関連プログラムとして、会期中には担当学芸員による解説を実施したほか、今後は、館長がガラスや作家の背景について語るスペシャルトークや、イタリアの歌曲にちなんだコンサートの開催を予定しており、幅広い世代の方に展覧会を届ける機会を図る。

(イ) 会期 令和6年3月6日（土）～令和6年6月23日（日）

(ウ) 会場 展示室1－3（2・3階）

(エ) 観覧料 一般1,200円、大学生1,000円 高校生以下無料

(オ) 観覧者数 7,455人（3月31日時点）

(カ) 関連事業

■開会式・内覧会

令和6年3月8日（金）16時00分～

会場：2階ロビー、展示室1－3（2・3階）

■土田館長によるスペシャルトーク「孤高の表現者・大平洋一」

令和6年5月18日（土）14時00分～16時00分 会場 2階ロビー

出演：土田ルリ子館長

■ライブラリー&ミュージアムコンサート

令和6年6月15日（土）14時00分～14時30分 会場：2階ロビー

会場：2階ロビー

■学芸員によるギャラリートーク

令和6年3月23日（土）、4月20日（土）、5月25日（土）、6月22日（土）

（予定） 各回14時00分～ 会場 展示室1－3（2・3階）

(キ) 展示風景



4 教育普及事業

趣旨

美術館が掲げる基本方針に則り、誰もが気軽に「美」と「知」に触れられる場として、豊かな感性や知的好奇心を育むため、教育普及プログラムを行うもの。

(1) 令和5年度 教育普及事業の概要

ア 令和5年度学校招待プログラム

(ア) 概 要

富山市内および広域連携中枢都市圏市町村の小学校4年生をガラス美術館および市立図書館本館へ招待した。美術館では豊かな感性を育むことを目的とした教育普及プログラムを、図書館では知識教養を深めることを目的としたプログラムを計画し、併せて複合施設の建築見学も行った。

(イ) 実施期間 令和5年6月26日～12月1日（計54回実施）

(ウ) 参加実績 78校／3,474名（富山市64校／3,150名、滑川市4校／111名、上市町6校／134名、立山町3校／50名、舟橋村1校／29名）



左：コレクション展鑑賞の様子（リノ・タリアピエトラ《アフリカ》2014年）

右：鑑賞の振り返りの様子

(2) 実習等受け入れ

ア 社会に学ぶ『14歳の挑戦』

(ア) 概 要

富山市内の中学2年生が「規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、生涯にわたってたくましく生き抜く力を身に着ける」ため実施される5日間の職場体験活動について、受け入れを行った。

(イ) 日 程 7月10日（月）～7月14日（金）

(ウ) 受入実績 4名（岩瀬中学校2名、藤ノ木中学校2名）

イ 博物館実習

(ア) 概 要

学芸員資格の取得を目指す学生に対し、博物館法施行規則第1条の規定に基づき、博物館実習の受け入れを行った。

(イ) 日 程 8月21日（月）～8月25日（金） 計5日間

(ウ) 受入実績 3名（京都芸術大学、京都美術工芸大学、富山大学）

5 広報活動事業

趣旨

ガラス美術館の活動を広く多くの人に周知するため、開催する展覧会等に関する広報活動を行うもの。

(1) 主な広報（広告）媒体

ア 広報とやま（発行部数：17万5千部）

美術館の企画展特集や見どころトーク情報、臨時休館情報を掲載。

特集掲載号（※お知らせ等の簡易な掲載は除く）

7月5日号、10月5日号、3月5日号



(企画展特集)
日本近現代ガラスの源流



(企画展特集)
宮永愛子 詩を包む



(企画展特集)
回顧展：太平洋—
ヴェネツィアン・ガラスの彼方

イ 新聞広告

企画展についての新聞広告を掲載。

北日本新聞 7月 8日（土）（日本近現代ガラスの源流）

7月15日（土）（美術館）

11月 3日（金・祝）（宮永愛子展）

3月 9日（土）（太平洋一展）

富山新聞 4月2日（日）（美術館、アナザーワールド展）

1月 1日（月）（宮永愛子展）

3月 9日（土）（太平洋一展）



(北日本新聞 半5段広告)
日本近現代ガラスの源流



(富山新聞 5段広告)
太平洋一展

ウ 「トランヴェール」美術館広告（12月号）

（読者可能者数：平均900万人／月（2021年度輸送人員データ）

JR東日本の新幹線〈北陸・上越・東北（北海道）・山形・秋田〉
全座席ポケットに設置されているフリーペーパーに美術館全体の広告を掲載。



2023年12月号（1/3p）

エ 「まっぷる」、「るるぶ」美術館広告

旅行誌「まっぷる」「るるぶ」にガラス美術館広告を掲載。

まっぷる富山（4月発行、4万5千部）

まっぷる北陸金沢（9月発行、8万8千部）

まっぷる金沢（2月発行、13万3千部）

るるぶ富山（2月発行、3万5千部）、

るるぶ金沢（3月発行、10万4千部）



まっぷる金沢 1p



るるぶ富山 1p



オ 「美術手帖」企画展広告

現代美術を中心に、国内外の美術動向を紹介する美術雑誌。

雑誌広告 発行部数：20,000部



美術手帖 2023. 10 号

カ 関連施設での展覧会ポスター掲載

富山城址公園

「日本近現代ガラスの源流」(6基)

「宮永愛子 詩を包む」(6基)

富山駅周辺

「日本近現代ガラスの源流」(3か所)

「宮永愛子 詩を包む」(3か所)

「回顧展：大平洋一 ヴェネツィアン・ガラスの彼方へ」(3か所)

富山空港

「日本近現代ガラスの源流」(2か所)



富山城址公園



富山駅南北自由通路



富山空港

キ サイネージ広告

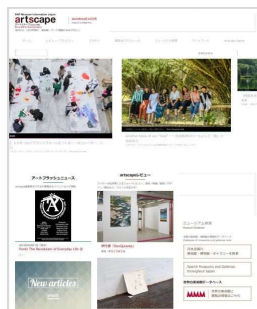
金沢駅サイネージ（日本近現代ガラスの源流、宮永愛子展、大太平洋一展）



ク ウェブ広告

ウェブサイト「artscape」（日本近現代ガラスの源流）

インスタグラム（日本近現代ガラスの源流、宮永愛子展、大太平洋一展）



artscape（日本近現代ガラスの源流）

インスタグラム（大太平洋一展）

ケ ガラス美術館ホームページ

展覧会情報や見どころトークをはじめとしたイベント情報などを随時発信。



ガラス美術館ホームページ

コ SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の活用

令和2年度に立ち上げたFacebook及びInstagramの当館独自の公式アカウントに加えて、令和3年度にはYouTubeの公式チャンネルを開設し、継続的にイベントのライブ配信を実施。

Facebook



Instagram



YouTube



(2) 令和5年度年間スケジュール



年間スケジュール（両面カラー A4 巻き三つ折 日 30,000 部・英 3,000 部）

(3) 多言語での美術館情報の提供

海外観光客の利便性を向上させるため、「QR Translator」を平成28年度に導入。展覧会のチラシや名刺型のカードに印刷したQRコードをスマートフォンなどで読み取ることで、館内案内や展覧会情報を8カ国語（日本語、英語、簡体字、繁体字、ハングル、仏語、独語、伊語）で表示できる。

令和2年度に当日観覧券にもQRコードを印字、令和3年度には、グラス・アート・ガーデンの音声ガイドを導入し、利用者の利便性の向上を図っている。



スマートフォンでの表示画面



名刺型のカード：表面



名刺型のカード：裏面



当日観覧券

令和5年度TOYAMAキラリ公益施設（美術館及び図書館）入館者数及び富山市ガラス美術館観覧者数について

【月別】

美術館観覧者数（人）														
月	TOYAMAキラリ （公益施設） 入館者数	有料						無料					合計	開館日数
		一般	大学生	団体	前売券	一部減免 ※1	小計	高校生以下	招待者	減免 ※2	教育普及 （引率を含む）	小計 ※3		
R5. 4	47, 672	10, 910	288	508	3	2, 346	14, 055	1, 080	300	615		1, 995	16, 050	28
5	58, 159	16, 127	389	671	7	3, 755	20, 949	1, 968	351	938		3, 257	24, 206	28
6	46, 051	7, 862	136	1, 254	10	1, 409	10, 671	674	475	549	528	2, 226	12, 897	28
7	89, 228	10, 146	154	299	1	2, 184	12, 784	2, 010	221	656	833	3, 720	16, 504	29
8	124, 925	16, 439	699	439	0	3, 952	21, 529	4, 338	314	1, 037	340	6, 029	27, 558	29
9	52, 425	12, 750	678	1, 573	5	2, 741	17, 747	851	259	716	857	2, 683	20, 430	28
10	51, 199	14, 940	84	1, 069	2	1, 887	17, 982	1, 083	299	672	351	2, 405	20, 387	29
11	52, 846	13, 251	263	930	28	2, 762	17, 234	1, 297	283	2, 475	783	4, 838	22, 072	28
12	36, 676	7, 559	196	793	3	1, 347	9, 898	810	252	390	20	1, 472	11, 370	26
R6. 1	19, 850	2, 504	60	488	11	383	3, 446	317	598	262		1, 177	4, 623	16
2	42, 033	8, 212	0	650	0	819	9, 681	877	78	489		4, 283	13, 964	27
3	50, 952	12, 383	594	183	12	2, 323	15, 495	2, 053	260	814		3, 127	18, 622	29
合計	672, 016	133, 083	3, 541	8, 857	82	25, 908	171, 471	17, 358	3, 690	9, 613	3, 712	37, 212	208, 683	325

資料 2 - 3

※1… (例) 「えこまいか」の提示、「地鉄電車・バス1日ふり〜きっぷ」の提示など
 ※2… (例) 富山市民で70歳以上の方、「孫とおでかけ」支援事業など
 ※3… 企画展「ガラスの街とやま連携展」の会期は2/10～2/18で、観覧料は無料。受付で人数のみカウントしており券種区分は不明であるため、本展観覧者数2,839名は2月の小計に計上。

令和5年度富山市ガラス美術館展覧会別観覧者数について

【展覧会別】

		展覧会観覧者数（人）											
展覧会名	会期	開場日数	有料						無料				
			一般	大学生	団体	前売券	一部減免	小計	高校生以下	招待者	減免	教育普及	小計
アナザーワールド：不思議でリアルな世界	4/1～6/18	73	16,329	813	177	20	4,953	22,292	2,830	1,064	1,611	0	5,505
日本近現代ガラスの源流	7/8～10/9	88	16,806	1,615	70	8	6,041	24,540	6,088	1,016	2,113	0	9,217
宮永愛子 詩を包む	11/3～1/28	66	7,938	519	58	42	2,604	11,161	1,847	1,105	1,188	0	4,140
ガラスの街とやま連携展 ガラスと生きる 富山ガラス工房と所属作家	2/10～2/18	9											2,839
回顧展：大平洋一 ヴェネツィアン・ガラスの彼方へ	3/9～3/31	22	3,455	594	0	12	1,147	5,208	1,491	189	567	0	2,247
常設展 ※2	4/1～3/31		88,555		8,552	0	11,163	108,270	5,102	316	4,134	3,712	13,264
合計			133,083	3,541	8,857	82	25,908	171,471	17,358	3,690	9,613	3,712	37,212
													208,683

※1 観覧料は無料。受付で人数のみカウントしたため券種区分は不明。
 ※2 常設展のみの観覧者（企画展観覧券による常設展観覧者は除く）

「TOYAMAキラリ」及び「富山市ガラス美術館」来館者数の推移

		TOYAMAキラリ公益施設 (美術館・図書館)				ガラス美術館				
		来館者数		開館日数		来館者数		開館日数		
		月計	累計	月計	累計	月計	累計	月計	企画展 開催日	常設展 開催日
H27	年度計	484,998	484,998	211	211	126,607	126,607	204	168	204
H28	年度計	623,584	1,108,582	350	561	138,618	265,225	337	276	333
H29	年度計	739,344	1,847,926	361	922	129,007	394,232	337	278	331
H30	年度計	1,058,161	2,906,087	364	1,286	374,899	769,131	342	285	338
R1	年度計	804,150	3,710,237	365	1,651	163,797	932,928	341	282	337
R2	年度計	514,178	4,224,415	332	1,983	118,992	1,051,920	302	270	293
R3	年度計	522,107	4,746,522	343	2,326	94,393	1,146,313	313	236	305
R4	年度計	646,261	5,392,783	361	2,687	175,170	1,321,483	337	274	337
R5	4月	47,672	5,440,455	30	2,717	16,050	1,337,533	28	28	28
	5月	58,159	5,498,614	30	2,747	24,206	1,361,739	28	28	28
	6月	46,051	5,544,665	30	2,777	12,897	1,374,636	28	17	28
	7月	89,228	5,633,893	31	2,808	16,504	1,391,140	29	23	29
	8月	124,925	5,758,818	31	2,839	27,558	1,418,698	29	29	29
	9月	52,425	5,811,243	30	2,869	20,430	1,439,128	28	28	28
	10月	51,199	5,862,442	31	2,900	20,387	1,459,515	29	8	29
	11月	52,846	5,915,288	30	2,930	22,072	1,481,587	28	27	28
	12月	36,676	5,951,964	28	2,958	11,370	1,492,957	26	26	26
	1月	19,850	5,971,814	17	2,975	4,623	1,497,580	16	13	16
	2月	42,033	6,013,847	29	3,004	13,964	1,511,544	27	0	27
	3月	50,952	6,064,799	31	3,035	18,622	1,530,166	29	22	29
	年度計	672,016	6,064,799	348	3,035	208,683	1,530,166	325	249	325

令和5年度 富山市ガラス美術館 5階ギャラリー使用実績について

資料2-4

令和5年4月1日～令和6年3月31日

	催 事 名	開催期間	展示日数		主催者	入場者数
			ギャラリー1	ギャラリー2		
1	山々の架け橋展	4/8(土)～4/9(日)		2	文藝同人無刀会	282
2	香りの展示会、香展	4/21(金)～4/30(日)		10	株式会社HERBAL8	2,265
3	アムールの光	5/4(木)～5/7(日)	4		Heart Angel	4,058
4	三人展+1	5/13(土)～5/17(水)	5		「3人展」実行委員会	874
5	Abox Photo Club Toyama 2023 写真展Vol.6	5/19(金)～5/21(日)	3	3	Abox Photo Club	1,148
6	宗玄浩写真展 ドリームクエスト夢をたずねて世界を巡る旅ー	5/26(金)～5/29(月)	4		宗玄浩	987
7	写真展「彩」	6/3(土)～6/4(日)	2	2	谷島匠海	825
8	G7富山・金沢教育大臣会合開催記念メモリアル写真展	6/6(火)～6/25(日) ※6/7(水)、21(水)は休場日	18		G7教育大臣会合富山県委員会	3,047
9	富山ガラス造形研究所 コールドクラス展「一層向こうへ -Beyond the Layer-」	7/14(金)～7/20(木) ※7/19(水)は休場日	6	6	富山ガラス造形研究所	2,017
10	写真展dejavu	7/22(土)～7/24(月)	3		小林優大	140
11	富山市所蔵作品展	7/26(水)～8/16(水) ※8/2(水)は休場日	21		富山市企画管理部文化国際課	9,727
12	第12回グループゆう展	8/20(日)～8/24(木)	5		ゆう展実行委員会	1,349
13	第16回悠画展	8/20(日)～8/24(木)		5	悠画会	1,319
14	YPP熊倉桂三のプリンティングディレクション	9/1(金)～9/4(月)	4	4	株式会社山田写真製版所	1,212
15	書道教室Sunroom展～えん～	9/8(金)～9/10(日)	3	3	書道教室Sunroom	812
16	樹人会書展2023～日本から海を渡った人びと	9/15(金)～9/24(日) ※9/20(水)は休場日	9	9	書道研究樹人会	2,174
17	設え2023「すまいにプラスone」	9/29(金)～10/1(日)	3		新たな表具研究会「表湧」	531
18	JAGDA富山 ポスターデザイン展2023 GREEN vol.28	10/21(土)～10/25(水)	5		JAGDA富山	825
19	おえかきキッズ作品展2023	10/28(土)～10/29(日)		2	おえかきキッズ	418
20	昭和に生まれ、二人の日本画家に出会った	11/3(金)～11/12(日)	10		立山画廊静幸貞美館	2,990
21	満ちる展	11/22(水)～11/26(日)		5	満ちる展実行委員会	1,465
22	富山ガラス造形研究所アーティスト・イン・レジデンス2023展覧会	12/2(土)～12/10(日)		9	富山ガラス造形研究所	3,072
23	『ちきゅうパスポート』原画展	12/13(水)～12/26(火)		14	富山市立図書館	1,298
24	2023年度富山大原デザイン学科 卒業制作展	1/19(金)～1/21(日)	3	3	学校法人富山大原学園 富山大原簿記公務員医療専門学校	301
25	富山ガラス造形研究所1年生グループ展「集積」-gathering and expanding-	1/27(土)～2/2(金)	7	7	富山ガラス造形研究所	1,088
26	富山ガラス造形研究所卒業制作展2024	2/10(土)～2/18(日)	9	9	富山ガラス造形研究所	3,492
27	2023年度 富山大原 進級制作展	2/23(金)～2/25(日)	3	3	学校法人富山大原学園 富山大原簿記公務員医療専門学校	1,067
28	富山第一銀行 第62回小学生図画コンクール	3/2(金)～3/10(日) ※3/6(水)は休場日	8	8	株式会社富山第一銀行	2,216
29	富山工芸協会展覧会	3/14(水)～3/18(月)	5		富山工芸協会	1,287
30	3.11東日本大震災 宮城のキロクとキラク	3/20(水)～3/26(火)	7		志麻克史	1,159
合 計			108	77		53,445

令和5年度公益施設内関連イベント実施状況について

1 美術館関連イベント（併設する図書館主催のイベントは除く）

(1) ライブラリー&ミュージアムコンサート

ガラス美術館の企画展に合わせてヴァイオリンやヴォーカル（ジャズ）のコンサートを実施した。

日時：令和5年8月5日（土）15時15分～15時45分、

12月23日（土）14時～14時30分

会場：TOYAMA キラリ 2F ロビー



ライブラリー&ミュージアムコンサート

(2) TOYAMA キラリ 防火・防災訓練の実施

TOYAMA キラリ内に勤務する職員（美術館、図書館、カフェ、ミュージアムショップ、富山第一銀行、施設管理委託業者）で、自主防火・防災訓練（被害状況の通報、消火、避難訓練など）を実施した。

日時：令和5年9月6日（水）16時～16時30分

会場：TOYAMA キラリ



TOYAMA キラリ 防火・防災訓練

(3) ワークショップ「TOYAMA キラリオリジナル和菓子を作ろう！」

TOYAMA キラリの外観をイメージしたオリジナルの和菓子を作るワークショップを実施した。

日時：令和6年2月3日（土）

① 10時～10時40分

② 11時～11時40分

会場：TOYAMA キラリ 2F Cafe 小馬キラリ店



ワークショップ「TOYAMA キラリオリジナル和菓子を作ろう！」

2 その他のイベント（富山市 他課担当事業）

(1) 「令和5年度富山市公募提案型協働事業」事業説明会（男女参画・市民協働課）

まちづくりのアイデアを提案し、提案者と市が協働で地域の課題解決に取り組む富山市公募提案型協働事業説明会及び報告会を行った。

日時：令和5年4月16日（日）14時～

会場：TOYAMA キラリ 2F ロビー

主催：富山市（男女参画・市民協働課）



令和5年度富山市公募提案型協働事業説明会

(2) G7 富山・金沢教育大臣会合 エクスカーション (企画調整課)

教育大臣等を藤井市長、伊東名誉館長、土田館長等が出迎え、TOYAMA キラリの概要説明を行った。開催中の展覧会について担当学芸員が会場を案内した。

日時：令和5年5月12日(土)

会場：TOYAMA キラリ

主催：富山市(企画調整課)



G7 富山・金沢教育大臣会合エクスカーション

(3) ガラス製フラウト・トラヴェルソ&ピアノコンサート (富山ガラス工房)

富山市民の「ガラスの街とやま」と「SDGs 未来都市富山」への関心を高めるとともに、「ガラス芸術と舞台芸術の融合による富山らしい地域文化の深化と振興」を期待して実施した。ガラス製フラウト・トラヴェルソと現代フルートにて演奏を行った。

日時：令和5年6月25日(日)

13時10分～13時50分

会場：TOYAMA キラリ 2F ロビー

主催：富山ガラス工房



ガラス製フラウト・トラヴェルソ&ピアノコンサート

(4) 2023 富山市景観まちづくりフォーラム (景観政策課)

TOYAMA キラリの設計に携わった建築家や大手モールの景観まちづくりに携わってきた有識者を招き、来場者参加型のトークセッションを実施した。

日時：令和5年9月23日(土) 10時～12時

会場：TOYAMA キラリ 2F ロビー

主催：富山市(景観政策課)



2023 富山市景観まちづくりフォーラム

(5) スケッチオーデション2023 Day0 (スマートシティ推進課)

とやま未来共創チーム(事務局：富山市スマートシティ推進課)、富山経済同友会、富山ニュービジネス協議会、富山大学が共催するビジネスプランコンテスト「スケッチオーデション2023」のプレイベントとして、講演、近況報告等を実施した。

日時：令和5年9月23日(土) 15時～17時

会場：TOYAMA キラリ 2F ロビー

主催：とやま未来共創チーム(事務局：スマートシティ推進課)、富山経済同友会、富山ニュービジネス協議会、富山大学



スケッチオーデション2023 Day0

(6) 第173回ナイトフォーラム 「とやまで建築を仕事にする」

ゲストスピーカーに本瀬齋田建築設計事務所の本瀬あゆみ氏、齋田武亨氏を迎え、講演及び軽食付きの交流会を開催した。

日時：2023年9月28日（木）

会場：TOYAMA キラリ 2F C a f e 小馬キラリ店

主催：富山県総合デザインセンター



第173回ナイトフォーラム 「とやまで建築を仕事にする」

(7) 富山映像大賞2023（まちづくり推進課）

映像により本市の魅力を市内外に発信し、継続的な賑わい創出を目的とした公募型コンクール「富山映像大賞2023」の最終審査会、授賞式を実施した。

日時：令和5年10月8日（日）13時～16時30分

会場：TOYAMA キラリ 2F ロビー

主催：富山市（まちづくり推進課）



富山映像大賞2023授賞式

(8) とやま未来創造ミーティング2023 とやまの価値を再発見しよう！

市民と行政との協同により「まちづくり」を考える市民討議会を開催した。

日時：2023年11月3日（金・祝）

会場：TOYAMA キラリ 2F C a f e 小馬キラリ店

主催：公益社団法人 富山青年会議所



とやま未来創造ミーティング 2023

(9) 市民交流事業2023 ONE ワク

富山を拠点に活躍する建築家と高校生・大学生の建築イベント「ONE ワク」を開催した。

日時：2023年11月18日（土）

会場：TOYAMA キラリ 2F C a f e 小馬キラリ店

主催：公益社団法人 日本建築家協会北陸支部富山地域会



市民交流事業 2023 ONE ワク

(10) 子ども未来会議（学校再編推進課）

子ども・保護者の視点から、多様な学びの場を含めた「誰一人取り残さない・質の高い教育」について話し合い、理解を深めることを目的として開催した。

日時：令和6年1月20日（土）10時～12時

会場：TOYAMA キラリ2F ロビー

主催：富山市PTA連絡協議会

共催：富山市教育委員会



子ども未来会議

(11) 富山ガラス造形研究所卒業制作展講評会（富山ガラス造形研究所）

富山ガラス造形研究所卒業制作展に係る講評会を実施した。

日時：令和6年2月9日（金）13時30分～15時00分

会場：TOYAMA キラリ2F ロビー

主催：富山市（富山ガラス造形研究所）

(12) 市民ミニコンサート（文化国際課）

昼休みのひとときを開催している「市民ミニコンサート」を、計9回開催した。

開催日：令和5年4月21日（金）、5月19日（金）、
7月28日（金）、8月4日（金）、8月18日（金）、
12月1日（金）、12月15日（金）、令和6年1月
19日（金）、3月15日（金） 計9回開催

会場：TOYAMA キラリ2F ロビー

主催：富山市（文化国際課）



市民ミニコンサート

「富山市ガラス美術館」来館者アンケート概要

(1) アンケート実施期間：2023年4月1日（土）～2024年3月31日（日）

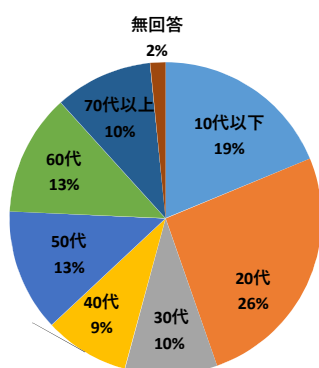
(2) 実施要領：各階受付に用紙・回収箱を設置

(3) 期間中来館者数：672, 016人

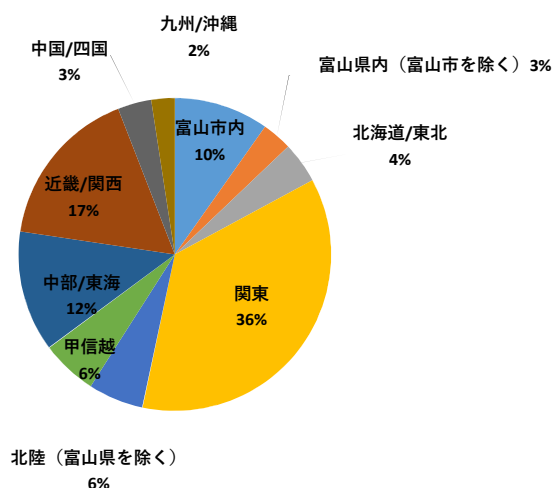
(4) 回答数：日本語版 1, 066件

国名・感想のみを記入の英語版は236件 合計1, 302件

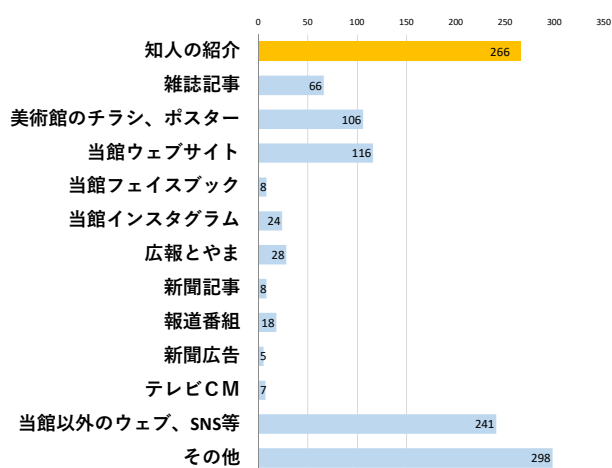
1. 年齢



2. 居住地域



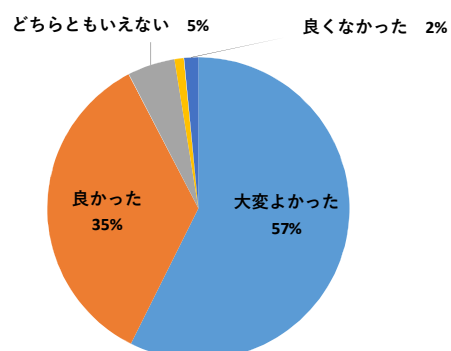
3. 来館のきっかけ



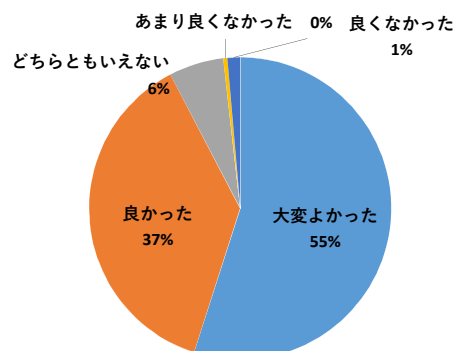
「その他」の内訳

旅行6、TikTok6、Youtube8、Google、招待券、学校3、リピート2、ベイビーボックス、地図4、観光地図、ツアー8、観光マップ3、家族に連れてきてもらった4、通りがかり8、休日、マンホールカード、観光名所2、デイル・チーフリの展示があるから、観光案内所5、ネットじゃらん、SNS2、TIGA、たまたま歩いていて見つけた2、主人から聞き2人で、子供の宿題、息子の案内、登山のついで、そこにあったから、9月に来館して前売券購入したので、観光のついで、家族の紹介、マップでみて、まちなか観光マップ、ガイドブック19、ことりっぶ7、るぶ9、うみとやまJRの広報誌、まっふる4、富山県に来て地元の方に勧められた、図書館のついで。富山城のインフォメーションセンターの人から、前から知ってた3、偶然、人づて、孫の誘い、友達のすすめ、インターネット（ネットサーフィン）9、観光目的でwebで検索、旅の本3、隈研吾3、観光の途中で立ち寄り、好きだから、時々、富山を紹介するテレビ番組、近いから2、たまたま3、美術館が好き

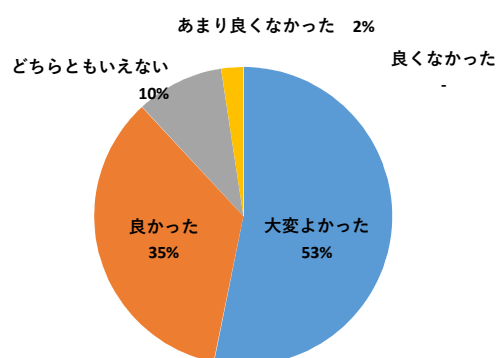
4. アナザーワールド展



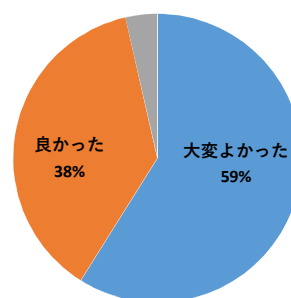
5. 日本近現代ガラス展



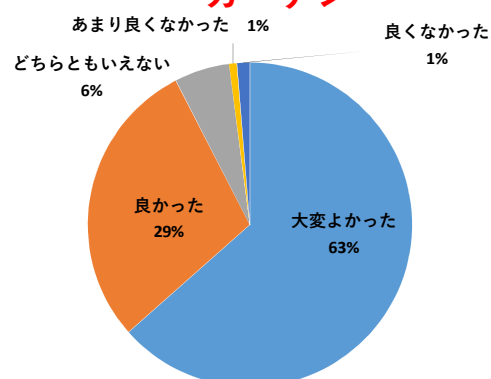
6. 宮永愛子展



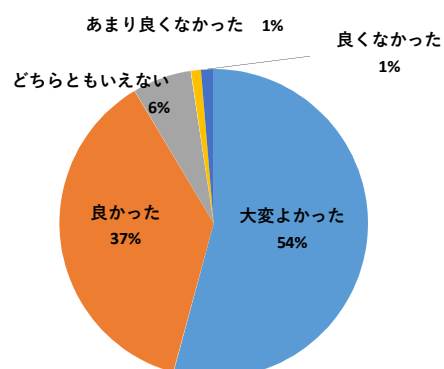
7. 大平洋一展



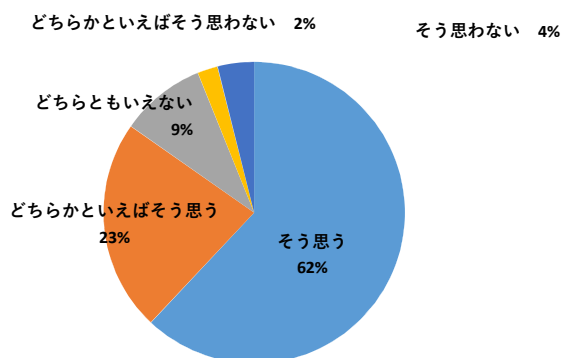
8. グラス・アート・ ガーデン



9. コレクション展



10. 本美術館にまた来館したい (他の人にすすめたい) と思うか



11. 主な美術館への要望

来場者への対応が良くない	81件
入場料を安くしてほしい	4件
ベンチを増やしてほしい	4件
監視員が多い	2件
館内の案内をわかりやすくしてほしい	5件
作品、展示室が少ない	13件
作品解説を増やしてほしい	9件
キャプションの文字を大きくしてほしい	7件
作品の見せ方を工夫してほしい	4件
展示作品の前に柵、線、ロープ等があると良い	6件
温度調整してほしい	5件
ショップの商品を増やしてほしい	1件
体験コーナーがほしい	11件
駐車場がほしい	3件
写真撮影・SNS掲載できる場所を増やしてほしい	6件
飲食スペースがほしい	3件
ほこり等の汚れが気になる	7件
身体の不自由な人への考慮がほしい	3件

【参考】英語版アンケート回答者の居住地

アイルランド	3	スイス	1	フィリピン	6
アメリカ	41	スコットランド	1	フィンランド	2
イギリス	13	スペイン	1	ブラジル	3
イスラエル	2	タイ	15	フランス	7
インド	5	台湾	17	ベトナム	1
インドネシア	4	チェコ	4	ベルギー	3
ウズベキスタン	1	中国	38	ペルー	2
オランダ	2	ドイツ	7	ポーランド	1
オーストラリア	33	日本（在住）	18	マレーシア	5
カナダ	11	ニュージーランド	8	ルーマニア	2
韓国	9	ノルウェー	1	ロシア	1
シンガポール	21	バチカン市国	1	不明	13

2023 年度

「富山市ガラス美術館」来館者アンケートについて

この度は富山市ガラス美術館のご利用ありがとうございます。
大変お手数ですが、今後の運営の参考とさせていただくため、
アンケートへのご協力をお願いします。

Q1. アンケートのご回答者様についてご記入ください。

(1) ご来館日 年 月 日

(2) 年齢 ☐ 10代以下 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上

(3) お住まい地域（差支えなければ都道府県名もお書きください）

☐ 富山市 ☐ 富山県内※富山市を除く（ 市、町、村） ☐ 北海道/東北

☐ 関東 ☐ 北陸※富山県を除く ☐ 甲信越 ☐ 中部/東海 ☐ 近畿/関西

☐ 中国/四国 ☐ 九州/沖縄 ☐ 国外 （お住まいの都道府県名※国外の場合は国名： ）

Q2. 富山市ガラス美術館にお越しになったきっかけは何ですか。（複数回答可、該当する番号にチェックをつけた上で、差し支えなければ具体的に媒体名をお書きください。）

☐ 新聞記事（ 新聞）

☐ 新聞広告（ 新聞）

☐ テレビの報道（番組名： ）

☐ テレビのCM（テレビ局名： ）

☐ 広報とやま（富山市発行の広報誌）

☐ 知人からの紹介

☐ 美術館のチラシ、ポスター（施設名： ）

☐ 雑誌記事（雑誌名： ）

本美術館の ☐ ウェブサイト
☐ Instagram
☐ Facebook

本美術館 ☐ ウェブサイト（サイト名： ）
以外の ☐ Instagram ☐ Twitter
☐ Facebook

☐ その他（ ）

Q3. 本日を含めて、これまでに何回この美術館を利用されましたか。

☐ 初めてのご来館 ☐ 2回 ☐ 3～4回 ☐ 5回以上

Q4. 本美術館にまた来館したい（誰かにこの美術館を勧めたい）と思いますか。またその理由を自由にご記入ください。

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらともいえない

☐ どちらかといえばそうは思わない ☐ そう思わない

記入欄

Q5. 本日はどのような交通手段でご来館されましたか。（複数回答可）

☐ 徒歩 ☐ 自家用車 ☐ 観光バス ☐ 市内電車（路面電車） ☐ タクシー ☐ 路線バス

☐ 自転車 ☐ 電車（在来線） ☐ 新幹線・特急 ☐ その他（ ）

Q6. 観覧料についてどう思いますか。

☐ 高い ☐ やや高い ☐ 普通 ☐ やや安い ☐ 安い

アンケートは裏面に続きます

Q7. 各階受付や展示室スタッフの対応についてどう思いますか？またスタッフの対応について、ご意見、感想等がありましたら、自由にご記入ください。

☐大変良かった ☐良かった ☐どちらともいえない ☐あまり良くなかった ☐良くなかった
「 」階 （ 受付 ・ 監視 ） ※差し支えない範囲で該当する階をご記入ください。

記入欄

Q8. (1)～(2)の展覧会の内容はいかがでしたか。該当箇所にチェックしてください。
また、ご意見、感想等がありましたら自由にご記入ください。

(1) 企画展（ご覧いただいた展覧会をチェックしてください。）

☐「アナザーワールド：不思議でリアルな世界」（2・3階）

（2023/3/4～2023/6/18）

☐「日本近現代ガラスの源流」（2・3階）

（2023/7/8～2023/10/9）

☐「宮永愛子展」（2・3階）

（2023/11/3～2024/1/28）

☐「大平洋一展」（2・3階）

（2024/3/9～2024/6/23）

☐大変良かった ☐良かった ☐どちらともいえない ☐あまり良くなかった ☐良くなかった

記入欄

(2) 常設展（ご覧いただいた展覧会をチェックしてください。）

☐「コレクション展」（4階）

☐大変良かった ☐良かった ☐どちらともいえない ☐あまり良くなかった ☐良くなかった

記入欄

☐「グラス・アート・ガーデン」（6階）

☐大変良かった ☐良かった ☐どちらともいえない ☐あまり良くなかった ☐良くなかった

記入欄

Q9. ガラス美術館について、ご意見、感想等がありましたら自由にご記入ください。

記入欄

その他 カフェ、ショップ、TOYAMA キラリ建物全体のことなど、ご意見、感想等がありましたら自由にご記入ください。

記入欄

ご協力ありがとうございました。

令和 6 年度

富山市ガラス美術館
事業計画等

令和 6 年度 富山市ガラス美術館事業一覧について

No.	事業名	当初予算額	主な事業の概要
1	管理運営事務費	410,248 千円	ガラス美術館の維持管理等を行う。 【内容】 ・職員人件費 117,579 千円 ・光熱水費 57,048 千円 ・委託料（受付・監視等業務委託 他） 160,998 千円 ・負担金（管理協議会ビル管理委託 他） 44,424 千円 ・その他経費 30,199 千円
2	作品収集保存事業費	18,871 千円	美術館が掲げる作品収集方針を基に、作品及び関連資料の収集を行う。また収集した作品を後世に伝えるための、調査研究と保存を行う。 【内訳】 ・備品購入費（新規収蔵作品購入費） 10,000 千円 ・委託料（美術品保管庫燻蒸業務 他） 7,990 千円 ・その他経費 881 千円
3	調査研究事業費	3,198 千円	全国の美術館等と連携を図り、研修参加や情報収集に努めるとともに、ガラス美術を中心とした専門書籍の収集など、学芸の調査研究活動を行う。 【内訳】 ・旅費（全国美術館会議、国際会議 他） 2,223 千円 ・負担金（全国美術館会議 他） 379 千円 ・その他経費 596 千円
4	展覧会開催事業費	120,000 千円	ガラス美術作品の企画展示・常設展示を行う。 【内訳】 ・令和 5 年度企画展「大平洋一展」撤去等経費 22,707 千円 ・「没後 120 年 エミール・ガレ：憧憬のバリ展」 39,847 千円 ・「富山ガラス工房開設 30 周年記念展（仮称）」 27,279 千円 ・「ガラスの街とやま連携展」 3,000 千円 ・常設展、ガラス・アート・パサージュ 22,105 千円 ・次年度展覧会準備など 5,062 千円 (参考)年間有料観覧者数見込：121,700 人 観覧料見込：65,699 千円)
5	富山ガラス大賞展開催事業費	46,000 千円	「ガラスの街とやま」の更なる定着を図り、その魅力を国内外に発信していくため、現代ガラス作品を中心とした国際公募展「富山ガラス大賞展 2024」を開催する。令和 6 年度は受賞作品を決める 2 次審査及び展覧会を開催する。 【内訳】 ・委託費（入選作品関係費、広告宣伝費等） 46,000 千円 (参考)有料観覧者数見込：19,600 人 観覧料見込：23,049 千円)
6	教育普及事業費	4,647 千円	富山広域連携中枢都市圏域の小学 4 年生をガラス美術館、図書館本館へ招待する。美術館では豊かな感性を育むことを目的とした学校招待プログラムを行う。 【内訳】 ・委託料（学校招待プログラム活動スタッフ委託費 他） 4,423 千円 ・その他経費 224 千円
7	広報活動事業費	15,718 千円	ガラス美術館を広く多くの人に周知するため、展覧会等に関する広報活動を行う。 【内訳】 ・印刷製本費（館内案内パンフレット 他） 2,000 千円 ・広告料（るるぶ、まっぷる 他） 3,711 千円 ・委託料（新聞、テレビ等広告制作費、掲載費 他） 9,265 千円 ・その他経費 742 千円
8	ガラス美術品等取得基金費	3 千円	ガラス美術品等の取得に要する費用に充当するために設置した基金（令和 5 年度末時点 4,936,571 円）について、運用益等の積み立てを行う。 【内訳】 ・基金運用益積立金 3 千円
予算額合計		618,685 千円	

回顧展:大平洋一
ヴェネツィアン・ガラスの彼方へ
展示室1-3
[2・3F]

2024年3月9日[土]▶6月23日[日]

華麗なガラス芸術で名高いヴェネツィア。1973年に渡欧した大平洋一（1946-2022）は、約38年にわたり、かの地で優れたガラス職人達と共に作品を発表してきました。吹きガラスの技と歴史を研究し、東西の文化や美意識の融合を目指した大平は、やがて普遍的な美しさを兼ね備えた独自のガラス表現に到達します。没後初となる回顧展では、国内外の所蔵作品や関連資料から、ガラス表現を探究した大平の足跡を辿ります。



《春の目覚め》2002年 Collection Mr. & Mrs. Hervé Aaron, New York
撮影: Francesco Ferruzzi Courtesy Barry Friedman

富山ガラス工房開設30周年記念展(仮称)

2025年3月8日[土]▶6月22日[日]

1994年、「ガラスの街とやま」の一翼を担う施設として開設された富山ガラス工房では、2024年に30周年を迎えます。工房では、^{切っ掛けとして}、現在、全国で活躍している作家は100名余。その創造力あふれる若い才能の数々が、富山ガラスの魅力を発信してきました。本展では歴代スタッフの作品と共に、工房30年の軌跡をたどり、未来へと続く針路を展望します。



和田修次郎 《富山曼荼羅彩ポトル》
撮影：室澤敏晴

富山ガラス大賞展2024

2024年7月13日[土]▶10月14日[月・祝]

本展は、世界の現代ガラスアートの最新の成果を集め、その発展に貢献するために開催されるトリエンナーレ形式の国際公募展です。3度目の開催となる今回は、世界50の国と地域から応募のあった785点から1次、2次審査を通過した作品約50件を展示します。無限の可能性を秘めた現代ガラスアートの今をお楽しみください。



前回大賞作品 佐々木類《植物の記憶》2019年 撮影：岡村喜知郎

展示室1-3
[2・3F]

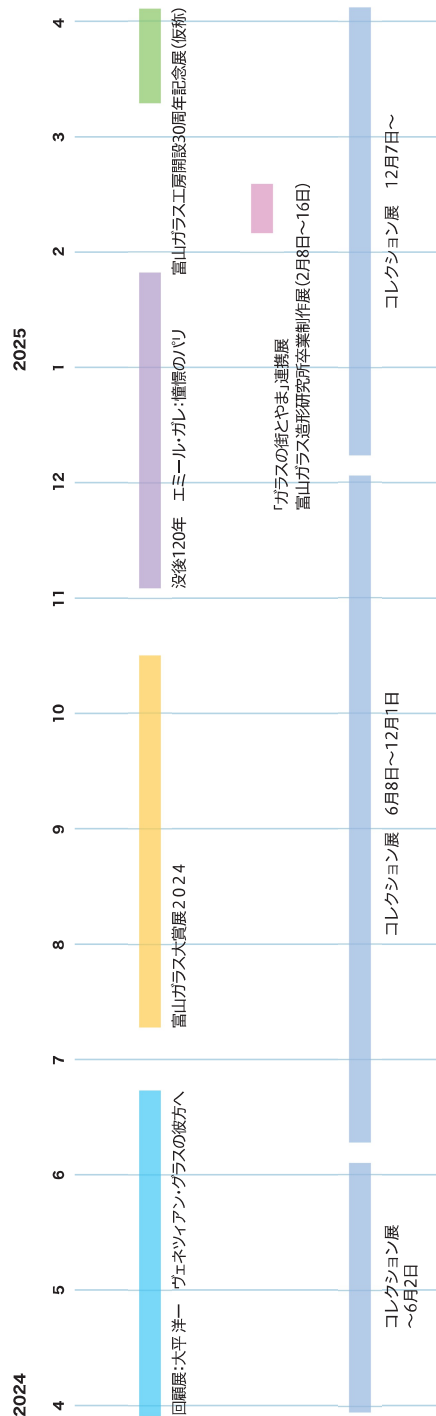
2024年11月2日[土] ▶ 2025年1月26日[日]

エミール・ガレ(1846-1904)は、フランス東部の古都ナンシーに生まれ、ガラス、陶器、家具において独逸の世界観を披露し、名声を極めました。彼が自身の造形的展開の発表の場に残したのは、世界的芸術都市パリでした。本展は、ガレとその国際的地位を不動のものとした憧れのパリとの関係に焦点を当て、彼の創造性の変遷を顧みる試みです。精神性豊かなガレ芸術をご堪能ください。

※2025年2月サントリー美術館(東京)に巡回予定。



エミール・ガレ 《脚付杯「蜻蛉」》 1903-04年 サントリール美術館



※記載内容は変更する場合があります。

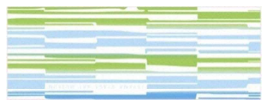
参考資料

ミュージアムショップ（２階）のオリジナル商品について

参考資料1

株式会社オークコーポレーション

2024/5/6

	商品名	J A N	税込価格	税抜 本体価格	サイズ	仕様	画像
1	クリアファイル TOYAMAキラリ	4532977717392	¥300	¥273	310×220mm	素材：P P 印刷：オフセット印刷 梱包：O P P 袋入り、裏面 1 c シール貼り	
2	クリアファイル ストライプ	4532977717354	¥300	¥273	310×220mm	素材：P P 印刷：オフセット印刷 梱包：O P P 袋入り、裏面 1 c シール貼り	
3	クリアファイル 隈研吾	4532977717361	¥360	¥328	310×220mm	素材：P P 印刷：オフセット印刷 梱包：O P P 袋入り、裏面 1 c シール貼り	
4	てぬぐい kirakira	4532977717477	¥1,650	¥1,500	900×340mm	素材：綿 100% 印刷：注染 梱包：紙帯巻き	
5	てぬぐい maru	4532977717460	¥1,650	¥1,500	900×340mm	素材：綿 100% 印刷：注染 梱包：紙帯巻き	
6	マスキングテープ コシノヒスイ	4532977930166	¥300	¥273	幅15mm×8mm	4 c プリント PP包装、単色シール貼り	

	商品名	J A N	税込価格	税抜 本体価格	サイズ	仕様	画像
7	マスキングテープ コシノアオ	4532977930173	¥300	¥273	幅15mm×8mm	4 c プリント PP包装、単色シール貼り	
8	ポストカード 小田橋 昌代	4532977717293	¥140	¥128	H148×W100mm	4 c +1 c プリント PPコーティング	
9	ポストカード ハワード・ベン・トレ	4532977933143	¥140	¥128	H148×W100mm	4 c +1 c プリント PPコーティング	
10	ポストカード 藤田 喬平	4532977933150	¥140	¥128	H148×W100mm	4 c +1 c プリント PPコーティング	
11	ポストカード TOYAMAキラリ	4532977721337	¥140	¥128	H148×W100mm	4 c +1 c プリント マットコート	
12	ポストカード TOYAMAキラリ (2Fロビー)	4532977731374	¥140	¥128	H150×W100mm	4 c +1 c プリント ヴァンヌーボ OPP袋有り 減灯UVインキ+光沢ニス	

	商品名	J A N	税込価格	税抜 本体価格	サイズ	仕様	画像
13	ミシン綴じノートスリム ア オ	4532977730353	¥700	¥637	H161×W83mm	表紙：箔押し 表紙カラー：アオ 本誌：OKフールス紙クリーム OPP袋有り	
14	ミシン綴じノートスリム ヒ スイ	4532977730346	¥700	¥637	H161×W84mm	表紙：箔押し 表紙カラー：ヒスイ 本誌：OKフールス紙クリーム OPP袋有り	

C a f e 小馬キラリ店（2階）メニューについて

[甘味]

お抹茶と生菓子セット ¥1,200	
アイスクリーム ¥400	
フローズンドリンク 各 ¥750	
ケーキ 各 ¥500	
ケーキ&プチデザート ¥700	

アイスクリームセット	・ ・ ・ ￥900
ケーキセット	・ ・ ￥1,000
ケーキ&プチデザートセット	・ ・ ￥1,200

[輕食]

トースト	・ ・ ・ ￥400
サンドイッチ	・ ・ ・ ￥750
富山ブラック豚まん	・ ・ ・ ￥500
富山ブラックセット（豚まん＆サイダー）	・ ・ ￥1,000
平日限定ランチセット	・ ・ ￥1,100

[ドリンク]

コーヒー [ホット/アイス]	・ ・ ・ ￥600
紅茶[ホット/アイス]	・ ・ ・ ￥600
ウイナーコーヒー[ホット/アイス]	・ ・ ・ ￥750
富山ブラックサイダー	・ ・ ・ ￥600
ジンジャーエール	・ ・ ・ ￥600
炭酸水	・ ・ ・ ￥600
オレンジジュース	・ ・ ・ ￥600
烏龍茶	・ ・ ・ ￥600
カフェオレ[アイス]	・ ・ ・ ￥700
コーヒーフロート	・ ・ ・ ￥650
ソーダフロート	・ ・ ・ ￥700

[アルコール]

ビール〔小瓶〕	・ ・ ・ ￥700
富山 地ビール〔缶〕	・ ・ ・ ￥800
貴醸酒 満寿泉〔グラス〕	・ ・ ・ ￥600
ノンアルコールスパークリング〔ハーフボトル〕	・ ・ ￥1,200